

猫の15首

斎藤佐知子・選

親の白猫しろちび小の白猫しろろふざけかけあがる老木の幹の梅はちら散る

佐佐木信綱

水甕を跳びそこなひし小猫なれば睡蓮の花と顔が並ぶも

加藤 楸邨

生みし仔の胎盤を食ひし飼猫がけさは白毛はくもウとなりてそよげる

葛原 妙子

風の荒だつ土の上にきらめく陽われは猫の見ているものを見てはいない

木尾 悦子

振り向けば窓と格子のあわいに猫が見ており行きて頬よす

坂口 弘

おしやべりをするやうに啼く猫だつたときをり妻に相槌も打ち

桑原 正紀

猫の目にみどりの針が燃えてをり海は見えずして海にほふ昼

真鍋美恵子

野に生まれテレビの上を好みたり押入れに死にしジャニス、ジャニスよ

谷岡 亜紀

もも色の舌の先端しまい忘る水充分に飲みたる猫の

田中多津子

猫の子のねむり甘しも夢ひとつのみこんでゐるちひさな喉ののみど

本田 一弘

もうこの世になきわが猫が銜へ来し子鼠のうつくしかりし両の眼

横山未来子

座り猫ふりむくときになにかかう懐手なつかする感じをかもす

小池 光

白黒のクリスマスツリー 白黒のちちははと僕 白黒の三毛

藤島 秀憲

今宵ひと月と野良猫が登場すわが人生の野外舞台に

築地 正子

橋を来る白猫に会いぬ橋を渡る猫をはじめて見たりと思う

佐佐木幸綱